

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろ」



令和3年  
第4回定例会  
第 **63** 号  
令和4年1月1日  
発行



名寄市議会ホームページ

- 新年のごあいさつ・議会日誌 ..... 2
- 定例会で決まったこと ..... 3
- 議決結果 ..... 4
- 一般質問に11人（12月13・14・15日）  
議会活動報告 ..... 5～10
- 各常任委員会活動報告・議員協議会 ..... 11～13
- きぼう（齋藤 滋さん、藤吉 求理子さん） ..... 14

題字 名寄市立名寄中学校 村岡 芹(むらおか せり)さん



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 東 千 春

あけましておめでとうございます。  
皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。  
一昨年来の新型コロナウイルスは市内経済や市民生活に大きな打撃を与え、また昨今の原油高も追い打ちをかける形になっています。国や道の方針を見据えながら、少しでも市民の皆さんの不安を払しょくできるように適時適切に対応してまいります。

昨年は名寄の地で永年操業を続けてこられた、王子マテリア名寄工場が操業を停止し、これまで名寄のシンボルの一つだった煙突からの煙が消え、多くの皆さんから寂しいとの声が聞かれます。そして工場や関連会社で働いた皆さんには転勤される方、名寄に残られる方もいらっしゃいます。市内での就職等の支援制度も作らせていただきますでしたが、一日も早く生活が安定していただくことを願っています。一方で、跡地利用については木質バイオマス発電と関連する事業計画が進み、また物流の拠点化事業の調査が進んでいます。これらの取り組みは名寄市として、積極的に情報収集し事業提言を行う、または包括連携協定を結ぶ運輸会社と、北・北海道の物流の拠点化の可能性について専門知識を踏まえながら調査活動を続けたものであり、工場跡地が名寄市の新たな希望となることを願っています。

議会では次期改選期から定数を2名減の16名とすることを決めましたが、議会機能が低下しないように、市民の負託に応え、信頼される議会づくりの具体的な活動について協議してまいります。  
結びに、令和4年が皆様にとって幸多い一年となりますようお祈り申し上げます。

迎春

市政クラブ

山田典幸  
塩田昌彦  
黒井孝義  
東川芳彦  
今村隆男  
遠藤隆彦  
五十嵐千絵  
清水一夫  
清浦勝秀  
三浦千春  
東千春

市民ネット

高野美枝子  
佐久間誠  
佐藤靖  
倉澤宏  
山崎真由美  
富岡達彦

公明

高橋伸典

日本共産党

川村幸栄



議会日誌 11~12月

- 11/4 経済建設常任委員会
- 11/10 全国市議会議長会理事会・評議員会合同会議(東京都) 全国市議会議員互助会代議員会(東京都)
- 11/12 各会派代表者会議 議会運営委員会
- 11/17 総務文教常任委員会
- 11/18 経済建設常任委員会
- 11/19 市民福祉常任委員会
- 11/22 各会派代表者



- 11/24 士別市議会との合同研修会(士別市)
- 11/26 議会運営委員会 議会報特別委員会
- 11/29 令和3年第4回定例会開会 議員協議会
- 12/10 議会運営委員会
- 12/13 議会運営委員会 総務文教常任委員会
- 12/15 議会運営委員会 令和3年第4回定例会閉会
- 12/17 議会報特別委員会
- 12/22 経済建設常任委員会

▽18歳以下に10万円を給付する子育て世帯臨時特別給付金・新型コロナウイルスワクチン3回目接種にかかる費用など補正予算案を原案可決

▽令和3年第4回定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の会期で開会。28件の議案を審議  
▽開会初日に加藤市長から行政報告  
▽令和3年第3回定例会で経済建設常任委員会に付託されていた「名寄市中小企業振興条例の制定について」委員長報告のとおり原案可決  
▽議案審議では、「名寄市企業立地促進条例の制定について」「名寄市工場立地法準則条例の制定について」「名寄市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について」を経済建設常任委員会へ付託  
▽13日、14日、15日の一般質問では、11人の議員が市政の課題について質問

主な条例の制定

☆名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について

国の法改正によって地方自治体の行政手続きにおけるオンライン化が努力義務とされたことに伴い、情報通信技術の便益を広く享受できるように、「名寄市行政手続き等における情報通信の技術の利用に関する条例」の全部を改正しました。

☆名寄市中小企業振興条例の制定について

未来を担う中小企業の振興が本市の発展に欠かせないという認識を共有し、意識を醸成することが必要であることから、商工振興にかかわる基本的な理念や各機関・団体・市民等の責務や役割等について規定するため、名寄市中小企業振興条例を全部改正しました。

主な条例の改正

☆名寄市国民健康保険条例の一部改正について

健康保険法施行令等の一部を改正する政令において、令和4年1月1日より、出産育児一時金の支給額が見直されることに伴い、本市の出産育児一時金の金額について、現行の40万4千円から40万8千円に改正しました。

主な補正予算

☆感染症対策事業費

新型コロナウイルスワクチンの3回目接種にかかる費用として、1億2147万3千円を増額しました。

☆商工業振興費

新型コロナウイルス感染症対策として実施している事業において、これまでの実績から見込まれる不足額として、中小企業融資保証料補助金1570万円、中小企業特別融資預託金1億5千万円を増額しました。

☆暖房費用緊急支援事業費

灯油価格の高騰により、生活に大きな影響を受ける世帯に対し、緊急的に助成する暖房費用として、1100万円を増額しました。

☆子育て世帯臨時特別給付金給付事業費

18歳以下に10万円を給付する子育て世帯臨時特別給付金を全額現金で給付するため、4億1276万7千円を増額しました。

☆なよろ温泉整備事業費

なよろ温泉サンピラーの営業を止めることなく改修工事をするために、シャワールームを整備することとするため305万7千円増額しました。

☆成人式運営事業費

成人式参加者の皆さんが、安心して式に出席できるように、新型コロナウイルス感染症の検査キットを購入し配布するため175万円増額しました。

臨時会を開きました

令和3年第3回臨時会が10月27日に開催され、地元定着推進・産業人材確保促進事業費の増額など、令和3年度名寄市一般会計補正予算（第6号）について審議し、原案のとおり可決しました。

## 令和3年 第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
令和3年 第3回定例会 付託議案第21号	名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第1号	名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市企業立地促進条例の制定について	閉会中審査決定
議案第3号	名寄市工場立地法準則条例の制定について	閉会中審査決定
議案第4号	名寄市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について	閉会中審査決定
議案第5号	名寄市財産管理委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	名寄市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	指定管理者の指定について（なよろ健康の森）	原案可決
議案第11号	指定管理者の指定について（名寄市畜産物処理加工施設）	原案可決
議案第12号	指定管理者の指定について（名寄公園パークゴルフ場）	原案可決
議案第13号	指定管理者の指定について（天塩川さざなみ公園）	原案可決
議案第14号	指定管理者の指定の変更について（名寄市牧場）	原案可決
議案第15号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第16号	令和3年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第17号	令和3年度名寄市立大学特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第18号	令和3年度名寄市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第19号	令和3年度名寄市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第20号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第21号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第9号）	原案可決

## 令和3年 第3回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第6号）	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

◎コロナ禍によるコメの需給改善と米価下落の対策を求める意見書

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 市民と協働のまちづくりは

市政クラブ 東川孝義 議員

#### 中期計画の中間検証は

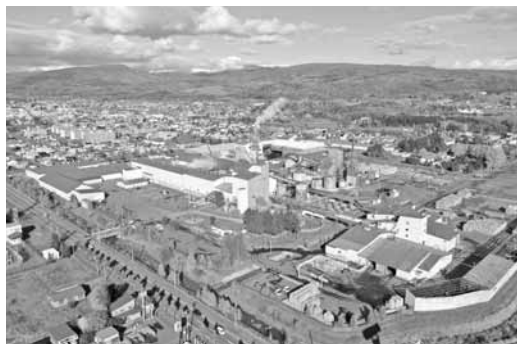
**問** 総合計画第2次中期計画、重点プロジェクト事業を中心とした主要施策の中間検証は、後期計画策定に向けた市民アンケート以外の手法は。

**答** 総合計画の進捗管理の手法として成果指標（KPI）を定め検証による進捗管理を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、必要な見直しを行うとともに、コロナ収束後を見据えた事業準備を進めていく。後期計画策定では、市民アンケートの他に、市民参加のワークショップや市立大学生も含めた市民と行政が一体となって策定していく。

#### 組織は人であり生き物

**問** 令和4年度の予算編成の基本的な考え方と令和4年度施策推進に向けて人材育成の課題は。王子マテリア跡地活用の具体的な進捗状況は。

**答** 令和4年度の予算は骨格



王子マテリア跡地活用で新たな産業の創出を

予算編成であり、足元のコロナ感染症対策の継続、総合計画、総合戦略の具現化、ポストコロナを見据えた事業を推進する。人材育成は定型的な研修を初め提案制度の充実を図っていく。王子マテリア跡地活用に向けて、再生可能エネルギーの具現化に向けて民間で検討している。物流・防災拠点化では、周辺地域と課題の洗い出し作業を進めており、立地の優位性を生かした実証実験を行っている。



### 命とくらしを守る

市民ネット 山崎真由美 議員

#### 心に寄りそう相談体制を

**問** 名寄市中心の教室相談員設置規則第一条には、「小学校との連携を図るものとする。」とあるが、小学校での相談員の対応事例は。

**答** 小学校での教育相談の要請は今のところないが、いつも、いつでも相談があった場合には対応できるように進めていく。

**問** 児童・生徒の心にしつかり寄りそうために、心の教室相談員の常駐化が望まれる。教育委員会としての見解は。

**答** 現在は、年間勤務時数を1050時間と定め、学校の実態に応じた開設時間を設定している。今後、心の教室相談員の果たす役割や研修のあり方について、再度検討していく。

#### くらしを守る公営住宅

**問** 政策空家であっても、住替えが完了するまでは、適切な管理が必要だが、屋根の傷

#### みなど管理計画は。

**答** 周辺環境に留意し、劣悪な状態にならないよう保全に努める。入居中の住宅については、屋根の塗装など状況を見ながら計画していく。

**問** 今後の財政見通しにおいて、公営住宅等長寿命化計画への影響は。

**答** 建設から解体までを一つのパッケージとして公営住宅の特定財源を確保している。影響はない。



政策空家となった風連地区瑞生団地



安心して暮らせるまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

健康づくりの推進について

**問** 本市国保加入者の各種検診の受診率及び評価について伺う。

**答** 本市では独自策として、対象年齢を30歳まで引き下げ実施しており、令和2年度の

30歳から後期高齢者医療加入者をあわせた特定健診・健康診査の受診率は19・6%、各種がん検診のうち、胃がん・

肺がん・乳がん検診も対象年齢を30歳に引き下げて実施、受診率は、胃がん検診9・2%、肺がん検診14・4%、大腸がん検診13・7%と新型コロナウイルスの影響もあり、令和元年度と比べ大幅に減少している。今後も関係各所との連携を図り、受診率向上に向けた取り組みを推進していく。

**問** 冬期間の高齢者の健康づくりの取り組みについて伺う。

**答** 名寄市保健推進委員協議会が主催し、健康体操教室を例年2月～3月にかけて開催



健康意識の向上に繋がる取り組みを

している。また、健康づくり体操教室も総合福祉センター

において通年で開催している。今後もコロナ禍で開始した新

しい取り組みも取り入れながら、市民の健康づくりが進むよう取り組んでいく。

**他の質問** 健康づくりの普及啓発、マイナンバーカードの普及率、各種証明書のコンビニ交付について



未来につながる産業構造へ

市政クラブ 今村 芳彦 議員

林業と山林の課題

**問** 名寄市林業の問題点は。

**答** 伐採まで50年以上かかる産業として、人材の確保や育成が課題。森林環境譲与税を

利用した、資格取得の支援事業や就業奨励金支給などを講じている。

**問** 山林所有者の意向は。

**答** 公的補助を受けるために森林経営計画への参加が必要だが、人工林の所有者のうち

36%が未参加となっている。引き続き、所有者の調査や計画への参加呼びかけに努める。

**問** 地域産木材の利用推進は。

**答** 名寄産の木材は主に運搬梱包材で利用され、建築用製材工場は無いが、名寄市を含む管内23市町村と13の森林組合で森林認証を取得し、ブランド化を図る取り組みが進んでいる。国の法改正もあり、今後調査研究したい。

**問** ゼロカーボンシティ宣言とは。

**答** 低炭素へ向けた状況は。

**問** 民間バイオマス発電所の計画がある。施策として

「(仮)エネルギー計画策定事業」を予定しており、そのなかで概要をお伝えしたい。

**問** 市内産業への影響は。

**答** 環境価値を求める企業の進出など、宣言と計画を強みに横断的な活性化につながるよう取り組む。

**問** 市民生活への影響は。

**答** 2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目標に協力を頂くため、目的や成果に共感を頂くことが重要と考えている。



樹齢約60年のトドマツ (市内撮影)

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 移住促進・雇用確保に向けて

市政クラブ 五十嵐 千絵 議員

#### 多種多様な支援について

**問** 全国的に人口減少が進むなか、各所で人材の取り合いの状況となっている。人材不足の観点からUIJターンの状況と移住促進・雇用確保の各支援メニューの実績について伺う。

**答** 名寄市移住促進協議会での事業を通じて本市へ移住された件数は11月末現在でUターン2件、Jターン1件の合計3件4名となり、新規での起業や就業に繋がっている。今後さらに3件の子育て世帯が移住を予定されており、それぞれ就職や起業される予定であると把握している。

**問** 都市部の若者人材を獲得する新たな取り組みに挑戦している事業者もいるが、連携の取り組みやサポートについて伺う。

**答** 本市としての連携やサポートについては、人材獲得の新たな取り組みにより、移

住を検討している方に対して

の相談や情報提供、移住体験ツアーの受け入れなど、移住前後のサポートを行う。その他、市内企業と連携した取り組みとしては、名寄市移住促進協議会において、企業の魅力発信に繋げるため、職場の風景や雰囲気などが伝わるようホームページ内にて新たに企業を紹介するコンテンツを設け、移住情報の充実を図っていく。

**他の質問** 若者人材を応援する施策について



窓口では各種移住の相談に細やかに対応する



### 高齢者のデジタル格差解消へ

公明 高橋 伸典 議員

#### スマホ講習会で解消を

**問** 社会のデジタル化が進み、高齢者がスマホ機器を使いこなせるか否かで生じるデジタルデバイドの解消の考えは。\*

**答** 高齢者のデジタルデバイドの解消は大きな課題。スマートフォンのインターネットなどの情報通信技術を利用することへの格差が生じない取り組みとして「シニアのスマホ教室」を開催し、スマートフォン・SNSの使用法、LINE・SNSの使用法、マイナンバーカードの申請や活用方法など、民間業者と連携し開催する。

#### 冷房設備で快適な学校生活を

**問** 地球温暖化に伴い、異常気象で猛暑が続く中、児童生徒に快適で不備のない学校生活を実現するため、小中学校にエアコンの設置の考えは。

**答** 児童生徒が良好な環境で学校生活を送るため、エアコンなどを整備することは暑さ

対策に有効。全教室や屋内運

動場にエアコンを早期に設置することは多額の経費で難しいが、国の特定財源に注視しながら少しでも早く設置ができるよう、エアコン設置への優先場所の選定や大型冷風機の導入など有効な方法を模索していく。

#### おくやみコーナーの設置を

**問** 不安を抱える市民負担軽減のため、おくやみコーナーの設置とガイドブックの作成を。

**答** 手続一覧で説明し、職員が付き添い各担当部署に案内している。必要な手続きが確実に行えるようチェックシートを研究していく。

#### 他の質問

ICTを活用した市民サービスへの向上



高齢者のデジタルデバイドの解消に「スマホ教室開催」

※デジタルデバイス：情報格差



## 地域循環型経済の構築

市政クラブ 塩田昌彦 議員

### 地域循環型経済とまちづくり

**問** 名寄市新築戸建住宅の地元企業受注誘導対策と地元中小企業の育成確保について。

**答** 地元企業への受注が減少する中、住宅リフォーム「ずっと住まいる応援事業」を展開し、住宅関連産業を中心に事業者はもとより、技術者の育成や安定した雇用の観点から高い効果が得られており、特に、新築戸建住宅の地元誘導対策は行っていない。

**問** 地元企業受注誘導へのインセンティブとして、利子補給制度の考えは。

**答** 「ずっと住まいる応援事業」の内容検証を行う中で受注誘導策としてインセンティブを含め検討するとした。

**問** 燃料単価の高騰に伴う公共事業への影響について。

**答** 除排雪事業への燃料高騰による影響は大きいものと認識しており、除排雪業務委託特記仕様書に沿って影響回避

のための設計変更などで対応する。

**問** 官公需に係る地元企業の更なる受注機会の確保について。

**答** 地域維持型契約方式の導入では、競争性の確保や受注者の負担増などの課題とメリットについて、導入自治体の活用状況などを調査研究する。

**他の質問** マイナンバーカードの運用と普及について



## 温浴施設の整備について

市民ネット 倉澤宏 議員

### 市街地区に温浴施設整備を

**問** 公衆浴場は健康づくり、コミュニティの場としての役割が高まっていることから、市街地における浴場整備に向け立地適正化計画や公共施設再配置計画等に温浴施設を整備する施設として追加の考えは。

**答** 温浴施設がまちづくりにおいてコミュニティ形成に資する施設となるのであれば計画策定の中で拒否するものではなく、施設整備も含め議論を加速させていきたい。

**問** サンプラー温泉改修について

**問** 来年予定している改修工事の内容は。

**答** 事業費は約3億8050万円。来年4月から10月までの間は改修工事のため温浴施設は日帰り入浴も含め利用できないが、宿泊についてはシャワー室の工事が終了する5月中旬以降からは受け入れが可能。

**問** 日帰り入浴ができない期間の対応は。

**答** 他施設への送迎や代替施設の確保も含めて調査したい。

**問** 令和4年度予算編成について

**問** 王子マテリア名寄工場生産停止による令和4年度税収への影響は。

**答** 個人市民税で約1800万円、法人市民税で約900万円、固定資産税の償却資産への賦課がなくなることから約3000万円、合計で5700万円の減収が想定される。



新築戸建住宅



来年3月から改修工事が始まるなよろ温泉サンピラー

※インセンティブ：動機づけ



## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 市民の健やかな未来のために

市民ネット 富岡達彦 議員

**ワクチン接種にかかわって**

**問** これまでの知見やデータから、感染しても重症化リスクの低い小児を含む若年層に對しては、接種後のリスクに鑑み、一層慎重な議論が必要だと思うが本市の見解は。

**答** 12歳未満の接種については、有効性・安全性を整理し、国の動向を注視する。

**問** 接種後の重大な急性期副反応事例が報告されている。接種後の中長期的安全性が担保されることが求められている中、3回目追加接種に対する本市の考え方は。

**答** 接種の手引きや実施要領に沿って追加接種を実施する。適切な情報提供に努め、本人の同意に基づき接種することが重要と考える。

**性的少数者の人権について**

**問** 全国的で137自治体に拡大してきている「パートナーシップ宣誓制度」の導入について、昨年来の情報収集

と検討の進捗状況について伺う。

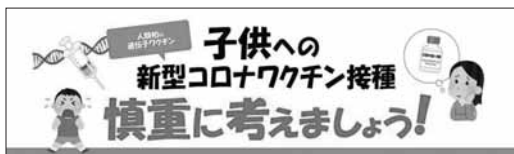
**答** 本市における性的少数者に対する正しい理解や認識など、導入に向けた熟度が高まっていない。いまは検討を進める考えには至っていない。

**問** 「性の多様性認知」の正しい理解を共有するために、公開型の研修・セミナー・講演会などの具体的取り組みについての考えを伺う。

**答** 講演会については、男女共同参画セミナーを考案する際の候補にあげていく。今後ポスター掲示などを活用しながら市民に対する周知・啓発に努めていく。

**他の質問** ゼロカーボンシティ宣言にか

かわって



こどもたちの健やかな未来を



### 女性に対する暴力をなくそう

日本共産党 川村幸栄 議員

**パープルリボン運動について**

**問** コロナ禍でDVが増加するなど女性に対する暴力が蔓延し、差し迫った人権侵害となっている。名寄市のパープルリボン運動について、今後の取り組みについてうかがいたい。

**答** 女性への暴力や虐待への関心を促し、暴力根絶を訴える取り組みとして、広報での啓発、相談窓口の紹介、市内商業施設と図書館で漫画展を開催。成人式参加者へ性暴力防止に関するチラシの配布を予定。高校生にはデートDV防止のリーフレットを配布した。

**問** DVなどから身を守るための緊急避難場所が必要だが、身心が傷付けられ、時には尊い命が奪われる事案が発生している。被害を受けている方を守るための避難所は必要。日頃から関係機関と連携し体制を整えていく。

**スケボーのできる場所を**

**問** 大きな駐車場や舗装道路で危険な場所でスケートボードをしている。安全に楽しむことのできる場所の提供を。

**答** 東京オリピック以降人氣が高まる一方で、一部の愛好者のマナーの悪さが指摘されている。現在名寄市では「道立サンピラーパーク・ストリート広場」で安全に楽しんでもらっている。周知の工夫も必要と考えている。

**他の質問** 石油類の高騰からくらしを守る施策を、生理用品の学校トイレ配置を



灯油の値上げは、くらしを直撃します

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します



## 市政の総括と今後の課題

市民ネット 高野美枝子 議員

**問** 加藤市長は平成30年の臨時会の所信表明で「自然の恵みと財産を活かしみんなできり育む、未来を拓く北の都市（まち）・なよろ」を掲げ「人づくり」「暮らしづくり」「元気づくり」の理念に基づき約25項目の公約を市民に示した。施策に対する進捗状況、成果について伺う。

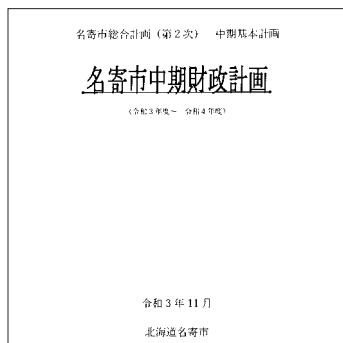
**答** 昨年度末の進捗状況は、事業完了・公約実現24%進捗率8割28%。  
「人づくり」  
冬季スポーツの拠点化、名寄市立大学の魅力づくり、市内高等学校の再編について伺う。  
**答** 大学運営は将来構想の中で検討し魅力戦略を実行中。産業高校跡地の利活用は北海道教育委員会から「閉校となる学校に係る財産の利用希望について」照会があり検討中。  
「暮らしづくり」  
子育て支援・高齢者支援・老朽化施設政策について伺う。

**答** 東・西保育所を統合し、ニーズの多い3歳未満児に特化した新保育所整備を検討する。

**問** 「元気づくり」  
中心市街地活性化・人材確保・不祥事を含めた行政運営に向けた考え方を伺う。

**答** 不祥事については心より深くお詫びを申し上げます。再発防止と法令遵守、適切な事務処理と丁寧な説明に努める。  
**問** 財政健全化の取り組みについて伺う。

**答** 事業の選択と集中の徹底、財源を重点的、効果的に活用し将来世代に負担を残さない。



財政の逼迫が明らかとなった名寄市中期財政計画

## 議会運営委員会活動報告

令和3年第4回定例会の日程及び議事運営などを協議するため、10月6日から12月14日まで委員会を8回開催しました。

11月26日の委員会では、会期を11月29日から12月15日までの17日間とすること、一般質問は13日から15日の3日間とし11名の議員が登壇することを確認しました。また、9月27日に付託された議案第21号に係る委員長報告と、上程議案は、名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について他18件で、議案第2号名寄市企業立地促進条例の制定について他2件は、経済建設常任委員会に付託し審査することとなりました。

12月13日の委員会では、当日の追加議案、15日の委員会では、定例会最終日の追加議案、令和3年度一般会計補正予算（第9号）についての審議を行うことを確認しました。なお、一般傍聴については、再開することとしました。



冬に備え支柱立てを行った林活議連植樹箇所

市民の声を市政に生かします!!

## 議会を傍聴しませんか!

定例会は  
3月・6月・9月・12月の年4回、  
また臨時会も必要に応じて開催されます。



- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴する際には、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局(☎01654-3-2111)へお問い合わせください。

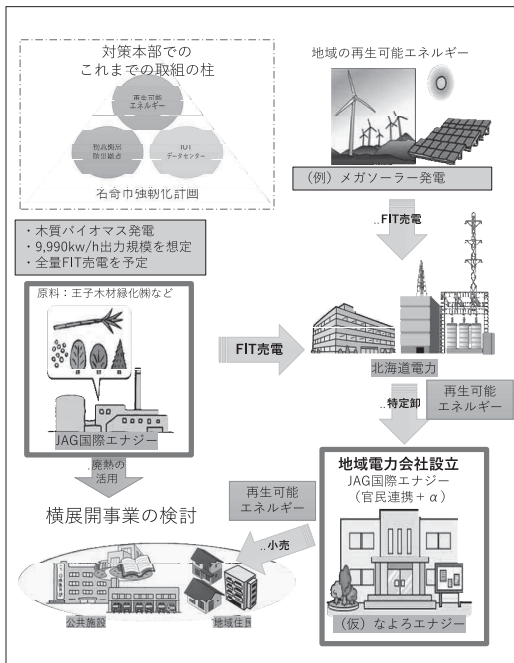
# 総務文教常任委員会活動報告

## 第11回委員会報告



整備が進む名寄高校駅 愛称は「Nステ」に決定

10月27日に第11回委員会を開催し、名寄市立大学から、オープンキャンパスの実施、助産師課程設置の検討について説明を受け、質疑を行いました。総合政策部から、王子マテリア名寄工場敷地利活用について「地域電力小売事業および木質バイオマス発電事業」の実施、「Nステ」と決定したJR名寄高校駅愛称審査結果、なよろフォトコンテスト2021について説明を受け、質疑を行いました。



提案された王子マテリア敷地利活用事業

## 所管事務調査事項

第10・11・12回委員会で、公共交通について「乗りやすい・乗ってみたいくなるバス」を念頭に、協議内容を更に絞り込み、最終的に委員会として提言をまとめることを確認しました。

総合政策部から、名寄市公共施設等再配置計画の策定、ジュニアオリンピック大会開催、スケートリンク場の運営中止、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

## 第12回委員会報告

11月17日に第12回委員会を開催し、名寄市立大学から、令和4年入学者選抜試験・大学入学共通テストの実施、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。教育委員会から名寄市内高等学校の再編統合（統合推進委員会・魅力化推進委員会合同拡大会議）、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

総務部から、名寄市財産管理委員会条例の一部改正、名寄市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定、補正予算の概要、指定

管理者の指定について説明を受け、質疑を行いました。

## 議員協議会

11月29日に開催された議員協議会では、「名寄市総合計画（第2次）中期実施計画の見直しについて」と「名寄市中期財政計画（令和3年度から令和4年度）について」、名寄市における財政課題も含め説明を受けました。

その後、4人の委員により確認や質疑がされました。総合計画の実施を裏付ける財政計画については、人口減少や公共施設・公共インフラの老朽化、長寿命化への対応などから収支不足の発生が予想され、基金などの活用による計画策定となっています。

財政規程の見直しにおいては、将来に禍根を残さないことが重要な認識を確認しました。



財政見直しについて協議した議員協議会(本会議場にて)

## 市民福祉常任委員会活動報告

### 第3期名寄市地域福祉計画

10月26日開催の第11回委員会では、保険医療福祉推進協議会地域福祉部会においての素案内容について説明を受けました。素案作成に当たり、18歳以上の市民2千人にアンケートを実施し、回収率は40・2%（840票）でした。11月19日開催の第12回委員会では、素案の経過報告を受け質疑を行いました。



期待される第3期地域福祉計画

### こどもの遊び場整備事業

第11回委員会では、遊び場遊具の配置概略について説明を受け、遊具の到着遅れ（海外調達）等により、オープン（海）は12月となること、愛称募集

は10月29日を期限とし、11月中旬の選考委員会で決定するなどの説明を受けました。

第12回委員会では、愛称は「にこにこらんど」に決定。利用時間、利用者、定員などのほか、当分はコロナウイルス感染症に十分配慮し人数制限、インターネットでの予約とするなどの説明を受けました。



にこにこらんどがオープン！

### 名寄市交通安全計画（案）

第12回委員会では、令和3年度から7年度を計画期間とする北海道交通安全対策会議

が決定した「第11次北海道交通安全計画」に基づき、素案の説明を受けました。パブリックコメントは、令和3年11月18日から12月17日までとしました。

### 新型コロナウイルス感染症

第11回委員会では、感染状況及び感染対策について説明がありました。第12回委員会では、11月15日現在の2回目ワクチン接種率について、65歳以上93・4%、12〜64歳86・1%、全体では88・8%との報告を受けました。3回目のワクチン接種については、2回目接種後原則8か月経過した方から順次接種券を発送。3月から5月に2回目接種した方は12月中旬に接種券を発送し、12月から1月に接種を予定。6月以降の方は、接種券を1月中旬に発送し、2月から順次接種を行う予定です。高齢者の方は予約時の混乱を避けるため、接種日を指定。接種方法については前回と同様で行い、高齢者にはハイヤーチケットを配布する予定との説明を受けました。

## 議会スナツプ 士別市議会との研修会

11月24日に士別市議会本会議場にて名寄市・士別市合同議員研修会を開催しました。同会は、意見交換や情報共有のために毎年開催しています。上川総合振興局北部森林室普及課新野課長による「最近の林業情勢と森林環境譲与税について」の講演では、森林が持つ多面的機能や北海道の木材産業についてを学び、理解を深めました。また、昨年5月に開庁した新庁舎内を見学しました。誰もが利用しやすいフロア完結型のコンパクト庁舎ながらも、消防庁舎と連結した作りで、士別らしさと防災や環境にも配慮されました。



多目的利用が可能な本会場にて

## 経済建設常任委員会活動報告

令和3年第3回定例会付託  
議案第21号 名寄市中小企  
業振興条例の制定について

10月13日に第13回委員会を  
開催し、第3回定例会で付託  
された議案第21号名寄市中小  
企業振興条例の制定について、  
審査を行いました。

地域循環型経済の考え方、  
市内中小企業者等の受注機会  
の増大と地域循環型経済の整  
合性、小規模事業者の条例で  
の位置付けなどについて質疑  
があり、説明員からは、財を  
域外から獲得し、流出しない  
よう域内で循環させていく。  
業種により市内で完結しない  
場合もあるため、

市の範囲  
を超え域  
内として  
考えてい  
く。小規  
模事業者  
も条例の  
対象に含  
まれてお



工場閉鎖後の市内経済の活性化が急務となる

り、セーフティーネットが張  
られていることをしっかりと周  
知していくなどの答弁があり  
ました。

11月4日の第14回委員会に  
おいても審査を継続し、条例  
化に伴う各種事業の今後の考  
え方などについて質疑が行わ  
れ、説明員から、複数の事業の  
一本化や、人材確保に対する  
支援、創業支援に対する助成  
などを恒常的に進めていくこ  
とが重要と考えている、など  
の答弁がありました。全質疑  
終了後採決を行い、採決の結  
果全会一致で原案のとおり可  
決すべきものと決定しました。

## 令和3年産農産物出荷状況

11月18日に第15回委員会を  
開催しました。経済部から、  
令和3年産農産物出荷状況に  
ついて報告があり、水稲に関  
しては過去最高の反収の見込  
みとの説明がありました。そ  
の他、コロナ禍における事業  
の実施状況、第4回定例会提  
出予定の補正予算の概要など  
について報告を受けました。



作物毎の成果の差が大きく出た  
昨年の地域農業

建設水道部からは、今年度  
の道路除排雪実施計画につい  
て、名寄市耐震改修促進計画  
策定の経過報告について、名  
寄市公営住宅等長寿命化計画  
策定の経過報告について、第  
4回定例会提出予定の補正予  
算概要について、下水道使用  
料賦課漏れに関する調査結果  
についてそれぞれ報告があり  
ました。

## 基地協議会 北海道部会総会

取材しました

10月25日全国市議会議長会  
基地協議会北海道部会定期総  
会が名寄市で開催されました。  
市長、道防衛局長、同全国会  
長が来賓として挨拶され、当  
市議会からは東議長と佐藤副  
議長が参加し、国への要望や  
事業計画が採択されました。

同総会には議会初の取り組  
みとして、議会報特別委員会  
の委員が取材しました。今後  
も、普段の活動の一部をお知  
らせできるように取り組みます。



# ☆ き ぽ う ☆



## 名寄の素晴らしい施設

さいとう しげる  
齋藤 滋

2002年に稚内からこの施設のために転勤を希望して来ました。その施設は私の予想より少し遅く2008年にオープンしました。そう、サンピラーパークのカーリング場です。カーリングは今でこそよく知られるスポーツになりましたが、その時はまだ私レベルでも「オリンピックを」なんて考えられる時代でした。じきにそんなことは無理であると感じた訳ですが、カーリングというスポーツはなかなか面白く続けていました。そうするうちに、カーリングはゴルフなどと同じように「シニア」という括りがあり、それで世界一を目指そうということになり、実はこのコロナ騒動の1年前の2019年に日本の大会で優勝して世界大会に参加しました。その結果は予選リーグ敗退で、その結果から推察すると世界でおそらく15番目くらいの実力だと思っています。まだ普通に働くことができますし、世界一になるまでは頑張ろうと思っています。



## やさしい町

ふじよし くりこ  
藤吉 求理子

私が働く道北クリスチャンセンターでは、1960年の設立以来、「神を愛し、人を愛し、土を愛する」を指針とした「道北三愛塾」という研修会を開催し、農家さん、食に関心を持つ方々と一緒に、学びと交流を重ねてきました。そこでは、いつも「誰もが十分食えることができ、生産者も農業を継続できるためには、どうすればいいのだろう」と、話し合っていました。

今回のコロナ下で多くの人たちの経済状況が厳しくなり、衣食住の課題を抱える中、市民有志で集まり、「名寄おすそわけ愛隊」という小さなグループを作りました。そして、アルバイトや仕送りが減った名寄大学の学生への食糧と生活用品の寄付を募ったところ、たくさんの方から支援品、農場のお米や野菜を分かち合っただけではありません。名寄は凍れる地域だからこそ、暖かい心で協力し合う人たちが住む「やさしい町」だと感激しました。しんどい日々が続きますが、これからも「小さなやさしい気持ち」を交換して過ごしたいですね。

## 表紙の写真は「少林寺拳法少年団」です。

少林寺拳法は子どもたちを中心に25名で毎週火曜日と金曜日に、名寄市スポーツセンター2階格技室で活動をしています。少林寺拳法の稽古や様々な年代の人との関わりを通して、それぞれの年代に応じた挨拶や礼儀を学ぶ場になっています。子どもにとって時に大人から注意される光景もあり、昔は当たり前にあった貴重な機会になっています。



## 編集後記

ワクチン接種や新しい生活様式への変化等、新型コロナウイルス対応に明け暮れた一年でした▼コロナ禍で市民一人ひとり様々な立場において、ご苦労されたことと思います▼日々変化し続ける社会情勢に対応することは知らず知らずのうちに精神的な負担になっていくかもしれません▼しかしながら、新型コロナウイルスはオンライン学習やリモート会議など、新しい社会像や社会的価値観をもたらしました▼このように、今まで当たり前だと思われていた常識と捉えていたことについて疑問を持つことも必要であると感じました▼最後に新型コロナウイルスの回復を願うとともに、私たち名寄市議会議員は今任期中の3年を終え、残りの1年間、市民の声を市政に反映するべく議員活動に邁進いたします。

(三)

